

科目名称 (Course Title)				担当教員(Instructor)	
地域林業経営論				野瀬 光弘	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
前学期	2 単位	3 年次	講義	無	無
授業の概要 (Course Description)					
<p>多種多様な生物で構成された森林は、人間の生存基盤とともに中山間地域における経済活動のひとつにあげられる林業の源泉でもある。森林から得られる木材などの産物は、石油などの化石燃料とは違って適切に利用すれば再生可能な特徴を有しており、未来につながる大切な資源といえる。森林に関する基礎的な知識や情報を身に付けた上で、林業経営への関与の仕方を意識しながら主体的に学ぶ機会を提供する。前半8回は森林の生物的特徴や機能、林業にまつわる技術、後半7回は持続可能な林業経営のあり方を講義する。</p>					
授業の到達目標 (Course Objectives)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 森林の生物学的な特徴や機能を理解する</li> <li>・ 中山間地域における産業としての林業の位置づけを把握する</li> <li>・ 林業経営に関わる場合に必要な知識と情報を身につける</li> </ul>					
授業計画 (Course Schedule)					
第 1 回	森林とは何か				
第 2 回	森林資源				
第 3 回	森林の持つ機能 (1)				
第 4 回	森林の持つ機能 (2)				
第 5 回	人工林や天然林の育成				
第 6 回	森林作業の基盤整備と伐出・運材				
第 7 回	森林計測と計画				
第 8 回	病虫害と野生鳥獣対策				
第 9 回	林業経営の社会的位置づけ				
第 10 回	国内外の林業経営				
第 11 回	林業経営のツール				
第 12 回	林業経営体の事業管理				
第 13 回	林業経営の実際				
第 14 回	林業経営を取り巻く政策				
第 15 回	本講義のまとめと今後の林業経営の展望				
授業時間外学習 (Supplementary Activities)					
<p>①農業関連の講義は林業と類似する内容が多く含まれるので履修が望まれる。          ②ニュースやネットメディアに流れている情報に目を向けること。          ③出身や縁のある地域の農林業や抱えている課題への理解を深めること。</p>					

成績評価の方法と基準(Grading)		
評価方法	(割合)	評価基準
期末試験 毎講義の感想シート	(70%) (30%)	秀：用語の内容をきちんと理解した上で、説得力のある独創的な視点で課題を説明できる。 優：適切な用語を使いながら論理的に客観的な説明ができ、的確に課題の内容を捉えている。 良：ある程度用語を理解した上で説明はできており、課題のありどころをおおむね把握している。 可：どうにか用語を並べて説明できるが、課題の理解度が小さい。 不可：用語をほとんど理解しておらず、課題についての説明がうまくできない。
テキスト (Textbook)		※特になし。授業で配布するレジュメを中心に行う。
参考書・資料等 (Supplementary Reading)		講義で配布するレジュメの中に参考資料を記入、紹介する。
備考 (Other Information)		3分の1以上（6回以上）の欠席は、単位不可とする。
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)		講義中に指示する。